

この刊行物は、皆様のご寄附による緑化
基金の果実(利息)の一部によって作成い
たしております。



緑化基金のお問い合わせは

(財)札幌市公園緑化協会

〒060 札幌市中央区南1条東2丁目

オフィス1・2ビル 8階

TEL 211-2579

すくすくみどり

No.2 緑と公園のおはなし



(財)札幌市公園緑化協会

一 目 次

緑	P 1
緑のある街	P 2 ~ P 3
緑のない街	P 4 ~ P 5
札幌の緑	
◇ 森林	P 6 ~ P 7
◇ 市街地の緑	
【公共の緑】	P 8 ~ P 11
【私有地の緑】	P 12 ~ P 13
緑を育てる	P 14 ~ P 15
公園や森でのマナー	P 16 ~ P 19
おわりに	P 20
(財)札幌市公園緑化協会の役割	P 21

緑

“緑”という言葉で皆さんは何を思い浮かべますか？

山、森、公園、街路樹、鎮守の森、庭木、観葉植物……様々なものが思い浮かぶでしょう。

ここでは“緑”について、植物（特に樹木類）とそれらのある環境を考えてみました。



農林業に従事している人のように、山林などから直接に恵みを受けている人だけでなく、山林などから遠く離れた都市で生活している人も“緑”からは大きな恵みを受けているのです。

それでは“緑”にはどんな働きがあるのでしょうか。

絵でみる「緑」の働き 〈緑のある街〉



酸素を放出する

水を確保する

動物や昆虫のすみかとなる

土砂くずれを防ぐ

音を防ぐ

うるおいのある住宅地

きれいな水

風や煙を防ぐ

木かげをつくり
やすらぎを与える

音を防ぐ

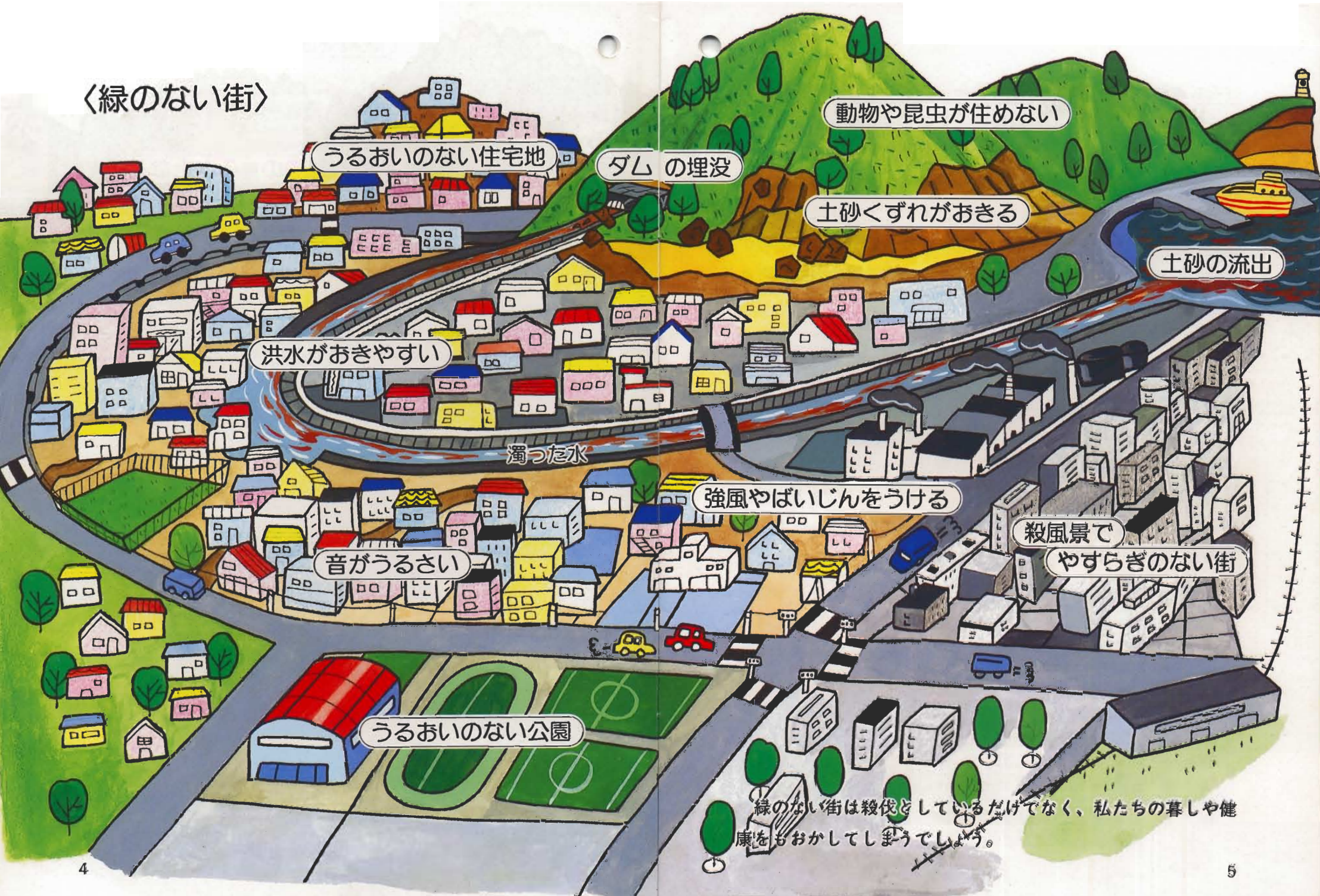
うるおいのある公園

空気を浄化する

このように「緑」は私たちの暮らしにうるおいをもたせるだけでなく、防災や飲料水に大きな働きをしています。

この緑がまったくなくなってしまうとどうなるのでしょうか？

〈緑のない街〉



うるおいのない住宅地

ダム の埋没

動物や昆虫が住めない

土砂くずれがおきる

土砂の流出

洪水がおきやすい

濁った水

強風やばいじんを受ける

音がうるさい

殺風景で

やすらぎのない街

うるおいのない公園

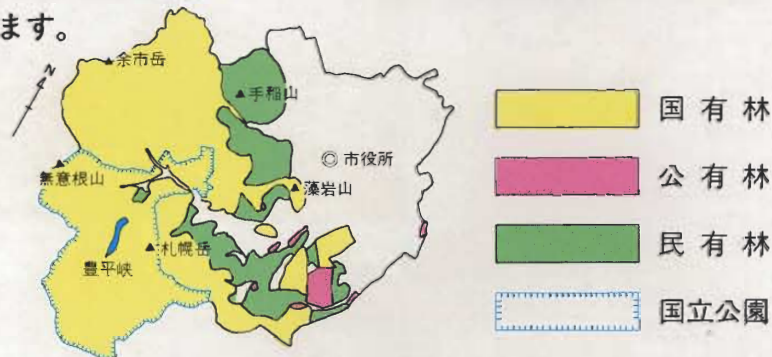
緑のない街は殺伐としているだけでなく、私たちの暮らしや健康をおかしてしまうでしょう。

札幌の緑

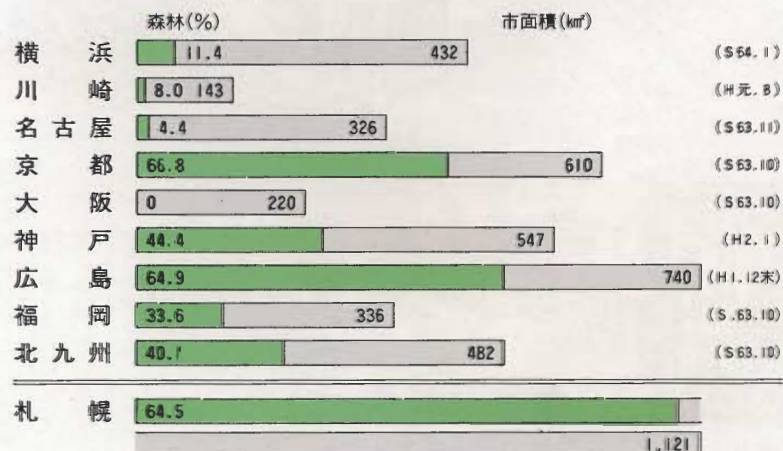
私たちの札幌市には、“緑”はどのくらいあるのでしょうか？

森 林

札幌市内の森林については、下図のように全市域の約65%が森林に被われており、そのうち21%は支笏洞爺国立公園に含まれます。



これを日本の他の主要な都市と比較してみますと、次のグラフのようになります。



左ページのグラフから、全国の都市の中では、札幌市は森林に恵まれているといえます。この森林は、左ページの図でもわかるように、札幌市の南や西の山地に多くまとまっています。

札幌市は市域の東側に市街化区域があり、これは市域の21%を占めており、ここに人口が集中しています。

一方、森林のほとんどない大阪市では、市域の95%以上が市街化区域で、その面積は札幌市の市街化区域とほぼ同じくらいになります。



豊平川

人口の集中する市街化区域の中では、私たちの札幌市でもまとまった森林は本当に限られています。

ですから市街地で緑を確保するためには、そこに住む人々が自ら作り上げ、守って行くことが大切なのです。

緑あふれる街というのは、私たちの住んでいる身近なところに緑が感じられ、昆虫や鳥も棲め、緑の樹々に埋もれたやすらぎのある町並みが理想的でしょう。



都市の中の公園

それでは、実際に、私たち札幌市の市街地の緑の現状はどのようなになっているのでしょうか？

市街地の緑

公共の緑

市街地での緑というと、庭木、公園、街路樹、空き地、社寺、などを思いおこしますが、まず公的なものとして、公園を取り上げてみます。

《公園》

国立公園などのように、自然の景勝地や、貴重な自然を守るため指定される公園を自然公園といますが、これに対して私たちの住居に近い子供の遊び場のような街の公園を“都市公園”といいます。

都市公園の目的は住民のレクリエーションや、市街地の緑化、災害時の避難、災害の防止などがおもなものです。

●公園面積●

公園の面積というと公園内の道路や建物、グラウンドなども含まれますので、緑の面積はもっと少なくなります。

また、同じ面積の公園でも、野球場やテニスコートが大部分を占めるものと、大きな樹木がたくさん繁っている公園とでは、



グラウンドの多い公園



緑の多い公園

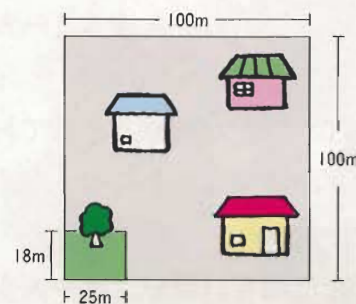
緑に恵まれているのは後者の方という事になります。

といっても、野球場やグラウンドなどをつぶして緑にした方がよいわけではありません。運動不足がちな都市生活者にとって、運動施設としての公園は、なくてはならないものです。

ここで公共の公園の現状を数字で調べてみましょう。

札幌市内全域には都市公園が約2,000カ所あり、その総面積は1,170haになります。

この内、私たち市民の大半が住んでいる地域近辺を含めて、公共の公園がその地域に対してどのくらいの面積を占めるか調べてみると、約4.5%になります。



$$\frac{a + b}{A + b} \times 100 \approx 4.5\%$$

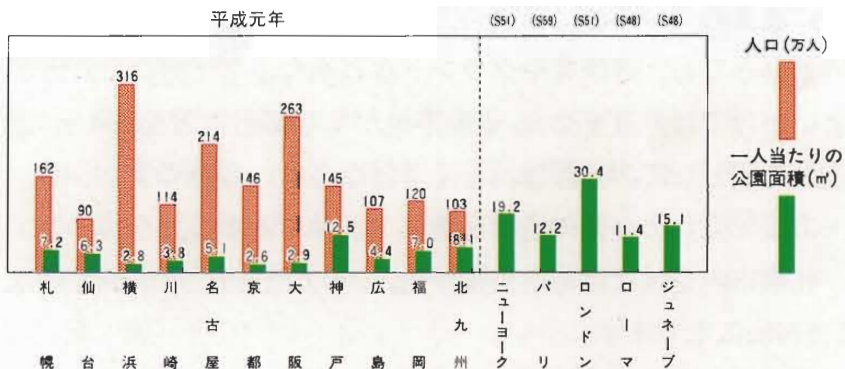
a : 市街化区域内の公園面積

b : 市街化区域に隣接する公園面積

A : 市街化区域の面積

それでは市民一人当たりの都市公園面積はどのくらいあるのでしょうか？

他の主要都市にも同様のデータがありますので、比較してみましょう。



このグラフでは、札幌市は国内では比較的高い数値を示していますが世界のレベルから見るとまだ低いことがわかります。

札幌市では都市公園に準ずるものとして円山原始林や野幌森林公園ふれあいの森などがありますが、これらを含めると一人当たりの公園緑地面積は12.2㎡となります。

一般に公園緑地の面積は一人当たり20㎡以上が理想とされており、そしてその配置も片寄りがなくどの地域にもまんべくなく緑が行きわたることが望ましいのです。

現在、札幌市の緑の基本計画では、これを21世紀には一人当たり40㎡にすることを目標にしています。

《街路樹》

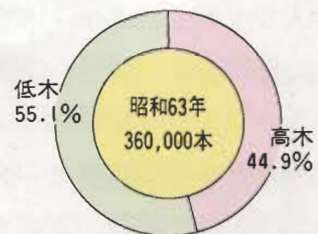
札幌市内の公共の緑の中で、公園について身近に感じられるのが街路樹です。

街路樹の数は昭和63



札幌駅前通りのハルニレ

年には約36万本に達しています。



・ベスト5・

1. ニセアカシア
2. ナナカマド
3. イチョウ
4. プラタナス
5. カエデ類

一般に街路樹は公園や庭木よりもより条件の悪い所に植栽されています。



このような雪国独特の不利な条件もあり、植栽本数は全国でも上位にありますが、葉張りのある美しい街路樹が少ないのが現状です。

このため、できるだけこのような悪条件をのりこえて、存在感のある街路樹づくりに取り組むことがこれからの課題です。



生育悪いナナカマド



生育良いナナカマド

■ 私有地の緑

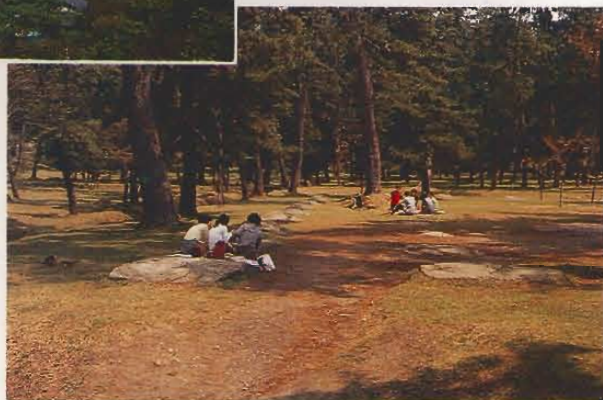
今までは公園などの公共の緑について述べましたが、市街地においては公園以上に私有地（個人の庭や社寺、農地、遊園地など）の緑が重要です。

前述のグラフ（P 10）では、京都市の都市公園面積は一人当たり2.6㎡と、札幌の7.2㎡に比べると少ないのですが、京都を歩いてみると市内はとても緑にあふれているように感じられます。

これは京都や奈良のような古都には古い時代から続いた神社やお寺が多く、その周辺の樹木が鎮守の森などとして、伐採されずに守られてきたためです。これらの緑はほとんどが私有地に含まれます。



清水寺



奈良公園

札幌市は新しい街で、今、宅地造成もどんどん郊外へ広がっています。それに伴い公園なども造成されますが、やはり公共の用地の緑だけでは限界があります。各家庭の庭や、会社、商店などの敷地に緑をどんどん増やし、そして大きく育てて、量質共に“緑あふれる札幌市”にしたいものです。

そこで札幌市では昭和59年から札幌市都市緑化基金を設け、市民の皆さんからご寄付をいただき、基金に積み立てながらその果実（利息）で私有地の緑化を進めて行くためのいろいろな事業を始めています。

春や秋に行う記念樹の無料配布や緑の絵、緑の標語コンクールなどはその一つです。



記念樹配布

緑を育てる

“緑”を増やすポイントは植物を植えることはもちろん、植えられた植物を健全に育て上げることが大切です。

自然のバランスのとれた森林などと違って、市街地の公園や個人の庭などは人工的に造成されたものが多いので、植物の生育にはよい条件とはいえません。



このような悪条件の中で、大きく育ててゆくためには人の手助け（管理）が必要です。

庭木は各家庭で細かく手入れできます。

公園などでは清掃、除草、剪定、病虫害防除、施肥、芝刈、冬囲いなど、こまめな手入れをしていますが、公園の数も多く広いので、すみずみまでの管理は非常に大変です。



▲草刈り



▲清掃



▲芝刈り



▲剪定



▲冬囲い

公園や森でのマナー

公園などの緑の管理は前述のように行われていますが、利用する人々のマナーも大切なことです。

次のような行為はやめて、公園や森を大切に、すばらしい緑を次の世代の人々に残してやりたいものです。

●ゴミの始末●

- ・持ち込んだゴミは持ち帰るようにしましょう。ゴミ箱の設置されている所でもなるべく持ち帰ることを心がけましょう。特にキャンプ場などででた生ゴミなどを土に埋めることは、腐るのでよいと思いがちですが、利用者も多く、腐るまでの時間もかかり、近辺の動植物に悪影響を与えてしまいます。



- ・家庭のゴミを公園のごみ箱に捨てたりしないで決められたゴミの収集場所・収集日に出しましょう。



●火の始末

- ・タバコのポイ捨ては絶対やめましょう。山火事の原因の1位がタバコの不始末です。

- ・ほとんどの公園は火気の使用は禁止です。ジンギスカンや焚火は出来ません。決められた公園の決められた場所でしか認められていません。

〈認められている公園〉

滝野すずらん丘陵公園、十五島公園、藻南公園など

また、森林内での火の使用は山火事の恐れがあり非常に危険です。

キャンプ場などの決められたところで使い、細心の注意を払って完全に消火しましょう。



- ・公園内の植物を折ったりちぎったり持ち帰ったりしないで下さい。

国立公園等では、土石や枯木などの採集も禁止されています。



- ・自転車やローラースケート等で芝生や花壇、植栽帯に乗り入れないようにしましょう。各公園での立入禁止区域を守り、小さな子供やお年寄りなどに危険が及ぶ競争などは絶対にやめましょう。

- ・犬の散歩の時は、必ず袋を持参し、糞などの始末をしましょう。動物の糞や小便は植物に悪影響を与えます。必ず綱を引き、連れ込み禁止区域には入れないようにしましょう。



- ・公園内の遊具や、施設は大切に使いましょう。看板や標識にいたずらしたり、落書きなどはやめましょう。特に山地などの標識にいたずらすることは遭難などを招き人命にかかわります。



- ・この他、他の人の迷惑になることはやめましょう。それぞれの場所で係員などの指示に素直にしたがって下さい。

よろしく
お願い
します



『おわりに』

今、“緑”の減少が世界的に危ぶまれていることは、マスコミなどを通して私たちにも理解できるようになりました。

これは地球規模的なスケールの大きな話ですが、私たちの身近な緑も大切にしなければならないことは同じです。

この本では、“札幌の緑”の実態を簡単に皆さんに理解していただいたうえで、緑あふれる札幌をつくるためにはどうしたらよいかを一人一人が考え、かけがいのない財産である“緑”と、それを大切にする心を子供達に伝えるための手助けになることを願い編集致しました。

一人一人に“緑”を大切にする心がしっかりと根つき、それがやがて世界的な緑の危機を救うことにつながれば幸いです。

(財)札幌市公園緑化協会の役割

当協会は、「札幌市都市緑化基金」を造成し、これを有効に運用して民有地の緑化を積極的に進めるために設立されました。

緑は、都市の良好な環境を作るうえで重要な役割を果たすものであると同時に、私たちの生活にうるおいとやすらぎを与えてくれます。

私たちは「緑あふれるまちづくり」を進めるため、この「都市緑化基金」の造成に鋭意努力しております。

この使命達成のため是非皆様方のご協力とご支援を心からお願い申し上げます。

基金積立額＝3億2百万円余

(平成2年1月現在)

皆様の温かいご理解で募金にご協力をお願い致します。